インドネシア国

住民参加型の多品目分別・減量による 非焼却型一般廃棄物処理システム普及・実証事業

有限会社そおリサイクルセンター（鹿児島県）

インドネシア国の開発ニーズ

- 廃棄物発生量の急速な増加に対応する収集運搬サービスの提供
- 最終処分スペースの確保（既存の最終処分場の延命化）
- 不法投棄による環境悪化の改善・防止

普及・実証事業の内容

- リサイクルセンターの導入実証（一般廃棄物からの有価物の分別、資源化販売）
- 堆肥化製造の改善支援（一般廃棄物からの有機廃棄物の分別、堆肥製造）
- コミュニティー主体の分別収集（Community-based Separate Collection : CBSC）の導入実証

提案企業の技術・製品

住民参加による非焼却型一般廃棄物処理システム

・資源ごみの再利用・リサイクル率を高めることによって、焼却せずに、持続的な一般廃棄物処理を実現する。
・廃棄物減量化の仕組みを自治体との協同事業として、業務委託により実施する。

事業概要

相手国実施機関：　ジャカルタ州
事業期間：2017年2月～2024年12月
事業サイト：　南ジャカルタ市

インドネシア国側に見込まれる成果

- 処理コストの高額な焼却処理不要の廃棄物処理システムの有効性が実証される。
- 一般廃棄物の減量化を促進する廃棄物処理モデルが導入される。
- 有価物販売により事業採算性を確保する処理システムが提案される。

日本企業側の成果

現状

- 低コストの非焼却処理は、開発途上国のニーズに合致すると想定される。
- 日本国内で非焼却型一般廃棄物の普及は進んでいない。

今後

- 非焼却型一般廃棄物処理システムの普及モデルが提案される。
- インドネシア国でのビジネス展開計画が策定される。

2024年6月現在